



国際会長ニュース

命の川を信じよう

第 12 号 2021 年 6 月



国際会長 ジェイコブ・クリステンセン

このニュースは、1 年を通して、毎月の寄稿記事や最新状況の報告によって、YMI 会員の皆さまに情報をお伝えするためのものです。このニュースをお受け取りになった際には、できるだけ多くの会員の皆さまに転送いただければ幸いです。メンバーは、何も受け取らないよりも、重複して 2 部を受け取る方が良いでしょう。

会員の皆さまへ

国際会長ニュース 6 月号へようこそ。今号では、YL (YMCA リエゾン)、キム次期国際会長の来年度の計画、「IHQ からのニュース」、「良い話を伝えよう」および国際会長裁量基金についてご紹介します。もうすぐ、2020-21 年のクラブ年度を振り返る時期になります。このクラブ年度は、ただ終わるべきものでしょうか？ただ消えてしまっていく年だったのでしょうか？そんなことは絶対にありません。YMI は、眠っていた訳ではありません。パンデミックの初期において、すべてのレベルでの私たちの活動を可能な限り盛んにすべきだと考えました。全世界で数多くのバーチャルミーティングが行われました。私個人は、100 以上のミーティングに参加しました。そうです。私たちは、旗を掲げ続けることができ、新型コロナウイルスが猛威を振るっていても、すべての活動を、全力を挙げて続けて行こうと、語り合ってきたのです。

今年度の私の目標のひとつは、国際レベルとクラブレベルの距離を縮めることでした。毎月、国際会長ニュースをお届けしていますが、ニュースや「良い話」によって、皆さんが私たちの活動の一部であるということを感じていただけたなら幸いです。

5 月 8 日に開催された国際議会の特別会合では、ジョース・ヴァルギース国際書記長、国際執行役員、EF 評議員にジュネーブの IHQ にふさわしいオフィススペースの購入を決定し、交渉する許可が与えられました。現在、この目的のためにポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産基金への寄付に特に力を入れる時期にきています。

インドでは新型コロナウイルスの状況が非常に悪く、苦しんでいる人々、酸素、病院の設備、助けを必要としている人々のために祈っています。[インド新型コロナウイルス緊急アピール](#)で集められたお金は、病院や最前線の健康センターを支援するインドのクラブや YMCA をサポートするために使われます。



ジェイコブ・クリステンセン
2020-21 国際会長

IHQ からのニュース 2021 年 6 月

2021 年 5 月 8 日に国際議会の特別会合が開かれ、重要な決定がなされました。この会の記録は、国際議会議事録を受け取っている方に回付されました。

2022 年国際大会ホストコミッティー、米国地域、ハワイ区の奨めに基づいて、2022 年 8 月に開催予定だった国際大会は、新型コロナウイルスパンデミックの継続とそれに伴う制限のため、2023 年 8 月に延期されました。

また、国際議会は、YEPP プログラムを直ちに終了することを決定し、IGo (Internships 4 Global Outreach) という新しいプログラムを承認しました。IGo についての詳細は、[こちらのウェブサイト](#)をご覧ください。

6 月は、私たちの活動を振り返る年次レビューの月です。逆境にもかかわらず、年末までに約 80 のクラブが結成されたことを報告できることは、心温まることです。今月は、ミャンマーの YMCA の支援により、同国で 4 つの新クラブが設立されることを祝います。また、ブルンジが YMI ファミリーの 73 番目の国として加わりました。

私たちの悲願であった会員オリエンテーションマニュアルの作成は、マニュアル検討委員会の素晴らしいリーダーシップのもとで完成いたしました。会員オリエンテーションガイドは[ここ](#)からダウンロードできます。

2021/22 年度の国際会長の就任式は、2021 年 7 月 3 日に韓国で開催されるハイブリッドイベントとして行われます。詳細は、近日中に発表いたします。

国際書記長 ジョース・ヴァルギース



「愛と尊厳で世界を癒そう」の準備をしましょう
次期国際会長 キム・サンチェ



世界中のワイズメン、ワイズウイメンの皆さま

次期国際会長として、ジェイコブ・クリステンセン国際会長の国際会長ニュースを通じて皆さまにご挨拶できることを大変光栄に思います。ジェイコブ国際会長には、この1年間、運動に対する卓越したリーダーシップと指導を発揮していただいたこと、また、ランディ夫人には、忍耐強くサポートしていただいたことに感謝いたします。今年度は、私たちの運動の歴史の中で最も困難な年の一つでしたが、私たちは世界中でワイズメンの火を絶やさないことに成功しました。それは、組織のすべてのレベルにおけるリーダーたちのたゆまぬ努力があったからこそであり、私は心の底から皆さまに敬意を表します。

2022年は、ワイズメンズクラブ国際協会の100周年にあたります。親睦を深め、祝い、私たちのコミュニティや世界中で良いことをする1年になることを楽しみにしています。世界中の人々の命を脅かすパンデミックのために、全世界が分断されています。死にゆく者、苦しむ者がいる今こそ、私たちは、世界とともにあるべきなのです。私は、今年の主題として「世界とともにワイズメン」を選び、「愛と尊厳で世界を癒そう」というスローガンを掲げました。

私は、クラブライフの中で、楽しみ、親睦を深め、祝う気持ち高めることで、孤独や不安を克服し、クラブメンバーのメンタルヘルスを強化し、この未曾有の時代にレジリエンスを発揮できると心から信じています。また、世界は、すぐにこの課題を一緒になって克服できると信じています。世界中のワイズメンの皆さまには、この世界を誰もが住みやすい場所にするために、愛と思いやりを持って世界を癒すために共に旅をする覚悟を持っていただきたいと思います。

親愛なるリーダーの皆さま、私たちの100周年の夢を構築し、花崗岩や大理石に彫られたものではなく、来るべき世代の人々の生活や心の中に永遠に残るワイズダムを祝うために、皆さまには1年の猶予があります。これは、私たちの時間です。二度と来ることはありません。私たちは、それをつかみましょ。祝おうではありませんか。皆さまは、生ける神から多くの才能を与えられ、今、この素晴らしい機会に恵まれています。あなたの才能、エネルギー、1年分のすべてを持ち寄って、私たちの主題である「世界とともにワイズメン」を宣言し、世界に奉仕し、私たちのパートナーであるYMCAをサポートしてください。

Kim se 08.

チームワーク

国際会長ニュースの作成は、一人で行っているわけではありません。編集者として私の名前が出てきますが、これは氷山の一角に過ぎません。国際会長、国際書記長そしてIHQのスタッフが貴重な情報を提供してくれます。また、国際事業主任からは「強調月間」用の記事が、また、世界中から「良い話を伝えよう」の記事も送られてきます。英語版ができあがると、イギリスのマイク・ベンドレーとジュネーブのジェームズ・オレのもとで、最終的な校正が行われます。この時点でPDFが作成されて、他の10言語の作成に向けて次の段階に入ります。

誌面からテキストを抽出して翻訳者チームに送り、翻訳者チームは、各言語で記事のテキスト版を送り返し、英語のテキストを置き換えます。

西洋の言語ではこのようなシステムになっていますが、中国、日本、韓国の言語は、私の手には負えないので、すべてのテキストと写真を3人の優秀な翻訳者に送り、それぞれの言語で完全なPDF版を作成してもらいます。最終的なPDFは、IHQに送られ、毎月初めに発行されます。翻訳チームには心から感謝しています。

中国語: Maggie Yu デンマーク語: Bjarne Soenderskov フランス語: François Müntzer

ドイツ語: Lothar Riebling 日本語: 田中博之 韓国語: Jin Chung スロバキア語: Anna Rašiová

スペイン語: Silvy Reyes そして、Olga Vozchikova、Marina Makarova、Irina Mamaeva、Tatyana Piskuryova、Olya Wallington のロシア語チームが作業を分担しています。

編集長 アラン・ウォリントン

Wally



「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」



6月の強調月間テーマ YMCA リエゾン(YL)



今月は、YMCA リエゾンの強調月間ですが、私自身を例として挙げたいと思います。私は、40年近くYMCAの主事として働いてきました。日本の地方都市にある小さなYMCAで働いていたとき、月に一度、YMCAに集まってくるビジネスマンや女性のグループがあることに気づきました。それがワイズメンズクラブでした。私は、1984年にメンバーになりました。以来、そのメンバーとその家族は、私と妻と3人の子供たちの親しい友人となりました。仕事でもプライベートでもお世話になっています。

私が日本に老人ホームを作りたいという夢を持っていたとき、彼らは、私の考えを支持し、YMCAのために募金活動をしてくれました。YMCAによる最初の老人ホーム建設のために、クラブ内だけでなく、日本の他の多くのワイズメンズクラブや、個々のワイズメンズに関連する様々な企業からも莫大な寄付金が寄せられました。

私は、YMCAでのキャリアを日本と海外のいくつかの場所で過ごしましたが、異なる都市や国に異動するたびに、仕事をしてきた地域のワイズメンズクラブのメンバーになりました。そこではいつも、必要な友情とサポートを得ることができました。私にとってワイズメンズクラブは、YMCAの最高のパートナーであり、この関係やパートナーシップをより強固なものにすることが私の役割だと思っています。

2020年の終わりに向けて、世界YMCA同盟は「Youth Led Solution」(ユース主導の解決策)というプロジェクトを提案しました。持続可能な開発目標のゴールに沿ったさまざまな問題のプロジェクトに、若者がそれぞれのコミュニティで挑戦することで、YMCAの考えるユース・エンパワーメントを実現することができます。何人かの若者が、環境問題などの地域の課題を解決するためのパイロットプロジェクトに挑戦することができます。プロジェクトを完成させるためには、効果的で持続可能なアプローチのための優れた戦略と資金が必要です。その資金をYMCAやワイズメンズが手配して、選ばれたプロジェクトを支援したり、プロジェクトを支援する企業を紹介したりすることができます。これは、YMCAとワイズメンズクラブが共同で行う、若者とのパートナーシップワークの一例です。

国際YL事業主任
山田公平

国際会長裁量基金

国際会長は、緊急時に自由に使える小額の基金を持っています。私たちは、困難な時代に生きていて、国際会長は、例年になく、このオプションを短期間に2回連続して行使しなければなりませんでした。

インド新型コロナウイルス緊急アピール

最近急増している新型コロナウイルス患者に対応するためのインドのクラブによる地域医療活動を支援するべく、国際会長裁量基金および韓国地域から2万スイスフランの資金提供が発表された後、IHQは、クラブや個人がこの緊急事態にどのように貢献し、支援できるかについて多くの問い合わせを受けました。

最近のインドにおける新型コロナウイルスの急激な蔓延と、現地のクラブの積極的な対応を考慮して、ワイズメンズクラブ国際協会は、「Heal the World」プログラムを通じて、インドでの緊急支援を行うための緊急アピール(募金)を開始しました。

このアピールで集められた資金は、インドのクラブやYMCAの活動を支援するために、病院や最前線の健康センターを支援するためのマッチングファンドとして使用されます。インドのクラブのメンバーや親族の何人かがウイルスで命を落とし、多くの人が感染して快復のために戦っています。世界中で苦しんでいる人々のために祈り続け、あなたの身近なところで可能な限りの支援を広げてください。

>> インド新型コロナウイルス緊急アピール <<

寄付金は、[こちら](#)の国際協会ウェブサイトを通じて、クレジットカードまたは銀行振り込みでIHQに直接寄付することができます。

ミャンマー

ミャンマーでは厳しい状況が続いており、私たちは現地のクラブメンバーやYMCAに連帯と支援を表明します。国際会長裁量基金から5,000スイスフランが緊急救援活動のために支給されました。

Week4Waste の取り組み

現在、Week4Waste の Facebook ページを開設して、[こちら](#)からアクセスできます。30 のクラブから 12 トンのゴミを回収したという報告を受けています。もっと多くのクラブが Week4Waste の週に働いたと思いますが、まだ報告が行われていません。皆さんの努力を世界に伝えてください。多くの投稿では、メンバーが清掃活動を行い、YMI のロゴが入った黄色のベストを着ていることで、良い広報活動が行われていることが紹介されています。

2021 年 9 月 18 日は「ワールドクリーンアップデー」(世界 清掃の日)です。ワイズメンの皆さんには、作業中に黄色い YMI のベストを見せていただきたいと思います。2022 年の Week4Waste は、4 月初旬に開催されますが、今年の活動に参加した多くの方々は、それまで常に、母なる地球のことを考えてゴミ収集活動を行ってくれることでしょう。

Week4Waste の活動を紹介するビデオが作成され、[こちら](#)でご覧いただけます。

Week4Waste 委員会委員長
ウルリック・ラウリドセン



Kosovo



Nairobi



Chiang Mai



Taiwan

Tell a good story.



パンデミック中の支援

南東アジア区の香港部は、パンデミックの間も忙しい日々を送っていました。パンデミックの影響で多くのクラブのミーティングが妨げられましたが、3 分の 2 のクラブは、YMCA と協力して福袋、食料、衛生剤、フェイスマスク、その他の必要品を配布し、新型コロナウイルスの救援プログラムを提供することに尽力しました。

私たちは、クラブが社会奉仕活動に粘り強く取り組んでいることに感謝しています。例えば、**香港クラブ**は 15,500 枚のフェイスマスクを香港中国 YMCA に寄付し、必要としているさまざまな人々に配布しました。**アイランドサウスクラブ**は、香港中国 YMCA クワイシンセンターと協力して、中国の旧正月の前夜に 130 人の家庭のお年寄りに小さな「プーン・チャイ」(何層にも重なった伝統的な中国の祭礼料理)を温かく寄贈しました。**ルンビニクラブ**は、2020 年 6 月に YMI 新型コロナウイルス緊急対応基金から 1,000 スイスフランの支援を得、ネパールでの救済および教育・啓発プログラムを組織しました。200 以上の低所得の移民家族が恩恵を受けました。**ニューテリトリークラブ**は、中秋節に香港中国 YMCA の高齢者センターに月餅と果物を寄付しました。

香港部部長 ジョーン・ウオン



Hong Kong Club



Island South Club



Lumbini Club



New Territories Club